

第63期(24年度) 事業報告

2025年6月19日

**(株) ミスミグループ本社
代表取締役社長 大野龍隆**

24年度 決算概要

為替レート (対円)	FY23 実績	FY24 実績
USドル	144.4円	152.5円
ユーロ	156.8円	163.6円
人民元	20.1円	21.1円

24年度決算 サマリー

<市況・需要動向>

- 地政学リスクや為替影響等、事業環境の不確実性が常態化
- 中・亜・日は緩やかな回復基調に対して、欧・米は総じて低調

<成長性・収益性>

- 成長性：売上高**過去最高**を更新
- 収益性：営業利益率は前期より**1.2pt改善**

<戦略実行・基盤強化>

- “**デジタルモデルシフト**” × “**地域毎成長戦略**”を継続実行
- meviyをはじめデジタルモデル施策が一定の成果創出
- 基幹システム刷新を始めとする事業基盤を一層強化

24年度 決算概要

独自施策効果および緩やかな需要回復により売上高過去最高を更新
収益性改善し前期から大幅な増益、仕入価格上昇等の影響で公表値未達

百万円

項目	FY23	FY24			
	実績	公表値 (10/25)	実績	増減率	
				対前年	対公表
売上高	367,649	401,200	401,987	+9.3%	+0.2%
営業利益	38,365	49,100	46,480	+21.2%	▲5.3%
利益率	10.4%	12.2%	11.6%	+1.2pt	▲0.6pt
経常利益	41,265	51,600	49,901	+20.9%	▲3.3%
当期利益	28,152	37,100	36,549	+29.8%	▲1.5%

24年度 事業別売上高・営業利益

全セグメント増収、とりわけ通信関連やmeviy、E品がFAの高成長をけん引
利益性の高い商品群の好調によりFA大幅増益、金型・VONAは前年同水準

百万円

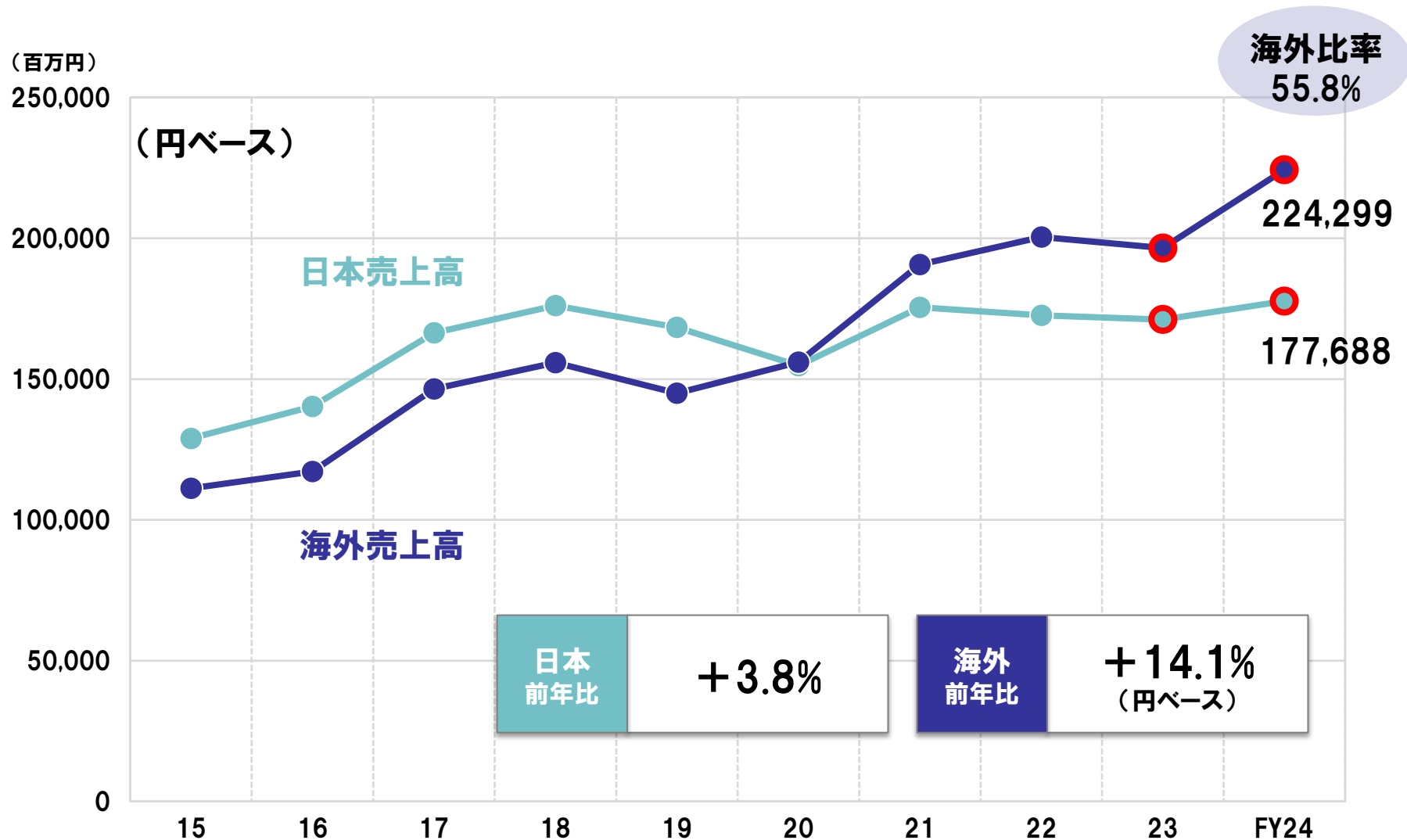
項目	売上高			営業利益				
	FY23 実績	FY24 実績	対前年増減率	FY23 実績	利益率	FY24 実績	利益率	対前年増減率
			円ベース (※)					円ベース (※)
合計	367,649	401,987	+9.3% (+6.9%)	38,365	10.4%	46,480	11.6%	+21.2% (+13.7%)
FA事業	118,219	135,803	+14.9% (+12.3%)	15,097	12.8%	22,510	16.6%	+49.1% (+40.9%)
金型部品 事業	79,932	86,451	+8.2% (+4.9%)	9,139	11.4%	9,504	11.0%	+4.0% (▲3.6%)
VONA 事業	169,497	179,732	+6.0% (+4.1%)	14,128	8.3%	14,466	8.0%	+2.4% (▲4.5%)

※現地通貨ベース

24年度 日本・海外売上高

日本:自動車関連需要、meviyを中心に底堅く推移し対前年増収確保

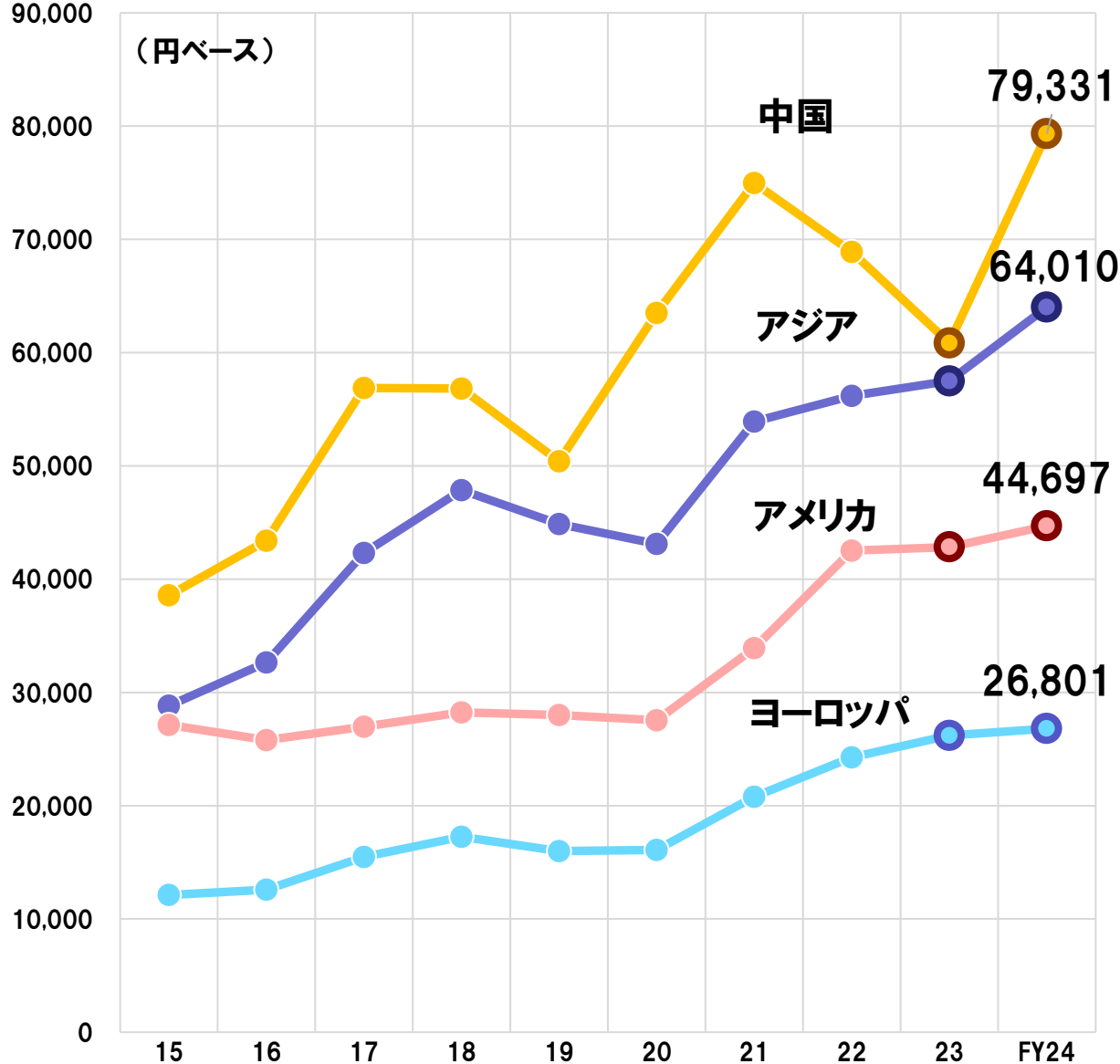
海外:中・亜は高成長、欧・米の低調をカバーし大きく増収



24年度 地域別売上高

(百万円)

(円ベース)



中国

市況は総じて不透明も通信分野が大きく貢献

(前年比) 円ベース +30.4% 現通ベース +24.4%

アジア

需要は概ね底堅く推移し
E品の浸透加速が大きく寄与

(前年比) 円ベース +11.3% 現通ベース +8.0%

アメリカ

先行き不透明感が増し、設備投資意欲の低迷により需要回復できず

(前年比) 円ベース +4.3% 現通ベース ▲1.2%

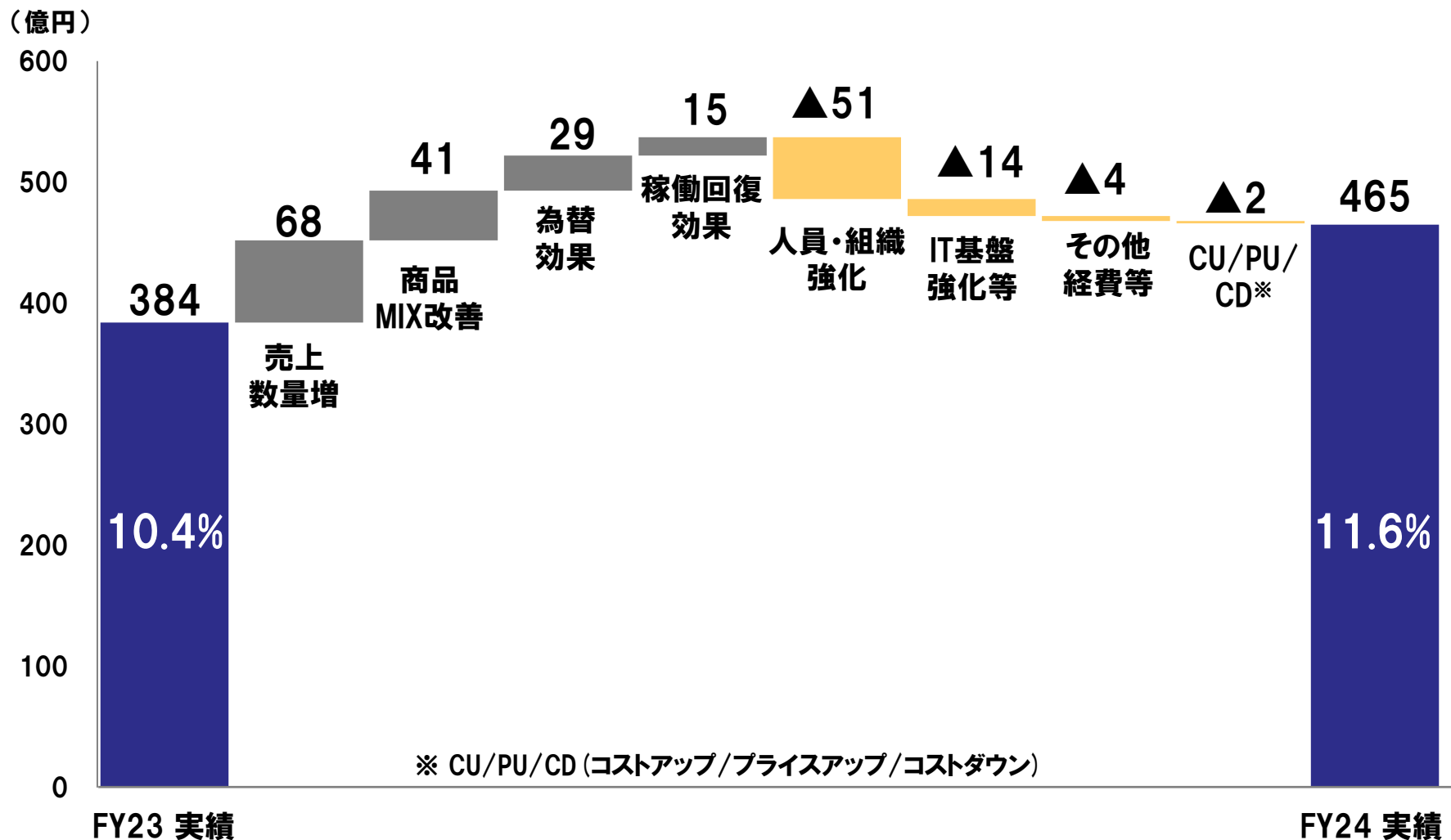
ヨーロッパ

独自施策効果あるも市況悪化による需要低迷をカバーしきれず

(前年比) 円ベース +2.3% 現通ベース ▲1.9%

24年度 営業利益増減分析(対前年)

売上数量増・商品MIX改善・為替効果を中心に大幅増益
モデル進化に向けて人員組織・IT基盤を継続強化も収益性改善



25年度通期 業績見通し

為替レート (対円)	FY24 実績	FY25 想定
USドル	152.5円	139.0円
ユーロ	163.6円	153.0円
人民元	21.1円	19.3円

25年度計画 サマリー

<市況・需要動向>

- 通商問題をはじめ、各国の政策動向が世界経済に**甚大な影響**を及ぼす
- 先行きが極めて不透明であり、**厳しい経営環境**が続くと見込む

<成長性・収益性>

※米国の関税影響とそれに伴う各国設備投資需要の減退を一定の想定に基づき算出しておりますが、今後の市場変化等により変更する可能性があります。

- 成長性：米国関税影響及び、為替の反動で前期より**微減収に留まる**
- 収益性：収益管理を徹底し、営業利益率は**2桁を堅守**

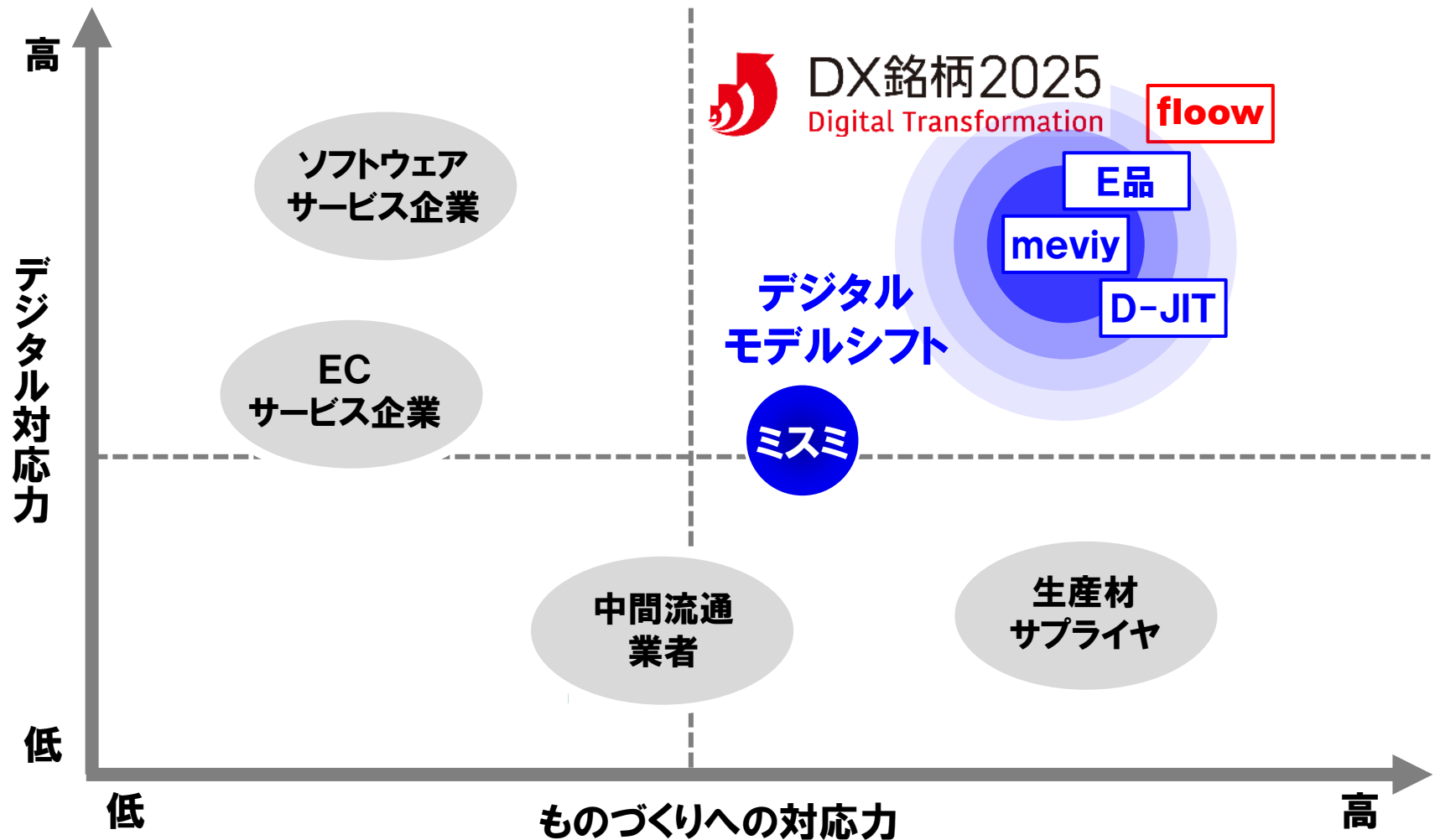
<戦略実行・基盤強化>

- 「**短期**」と「**中期**」の**均衡**を重視
- 需要動向を踏まえつつ、必要不可欠な事業基盤強化は継続
- 各地域特性に合ったデジタルモデル施策を更に浸透

ミスミのデジタルモデルシフト

多様化進む自動化顧客ニーズに対応すべく、デジタルモデル**第4弾**を発動
これらの取り組みが評価されDX銘柄認定

⇒ **デジタルものづくり時代の産業基盤、インフラを目指す**



主要事業におけるデジタルモデルシフトの浸透

全社で展開するデジタル施策により既存事業の抜本的強化を図る
従来対応出来なかった領域(商品・市場)を獲得し、着実に成果を創出

		FA	VONA	金型
全社戦略	meviy	オンライン加工事業		
	エコノミーシリーズ	低価格×最適品質の商品シリーズ		
	D-JIT	大量調達自動注文システム		
	floow	ファクトリーMRO調達の最適化サービス		
事業毎戦略				

デジタルモデルシフトの進捗

25年3月末時点/伸び率:対前年

DM #1 meviy

売上高

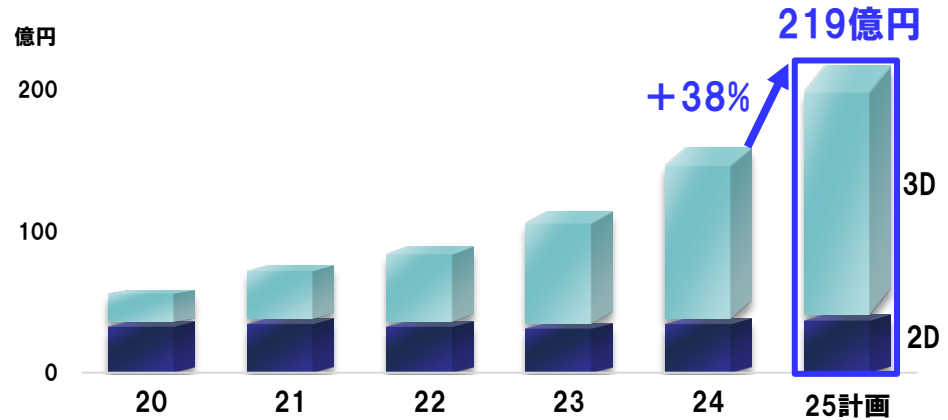
159億円
(+38%)

利用者数

19万人
(+34%)

収益性

国内黒字化達成



DM #2 エコノミーシリーズ

売上高

111億円
(+61%)

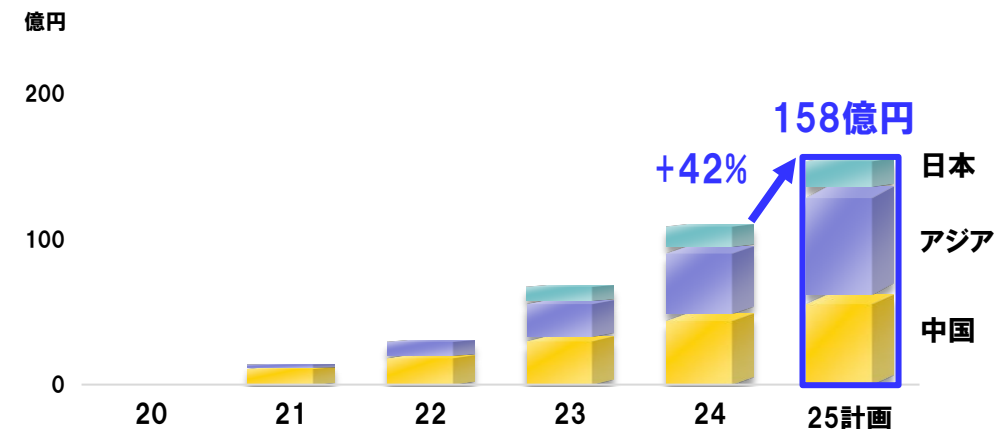
中 **+49%**

亜 **+86%**

顧客数

9万社(+25%)

日 **+47%**



DM #3 D-JIT

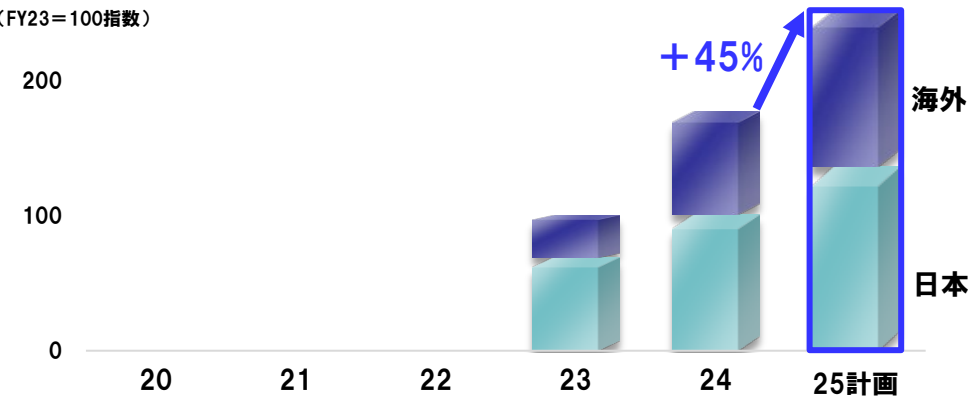
売上高伸び率

+77%

日本 **+46%**

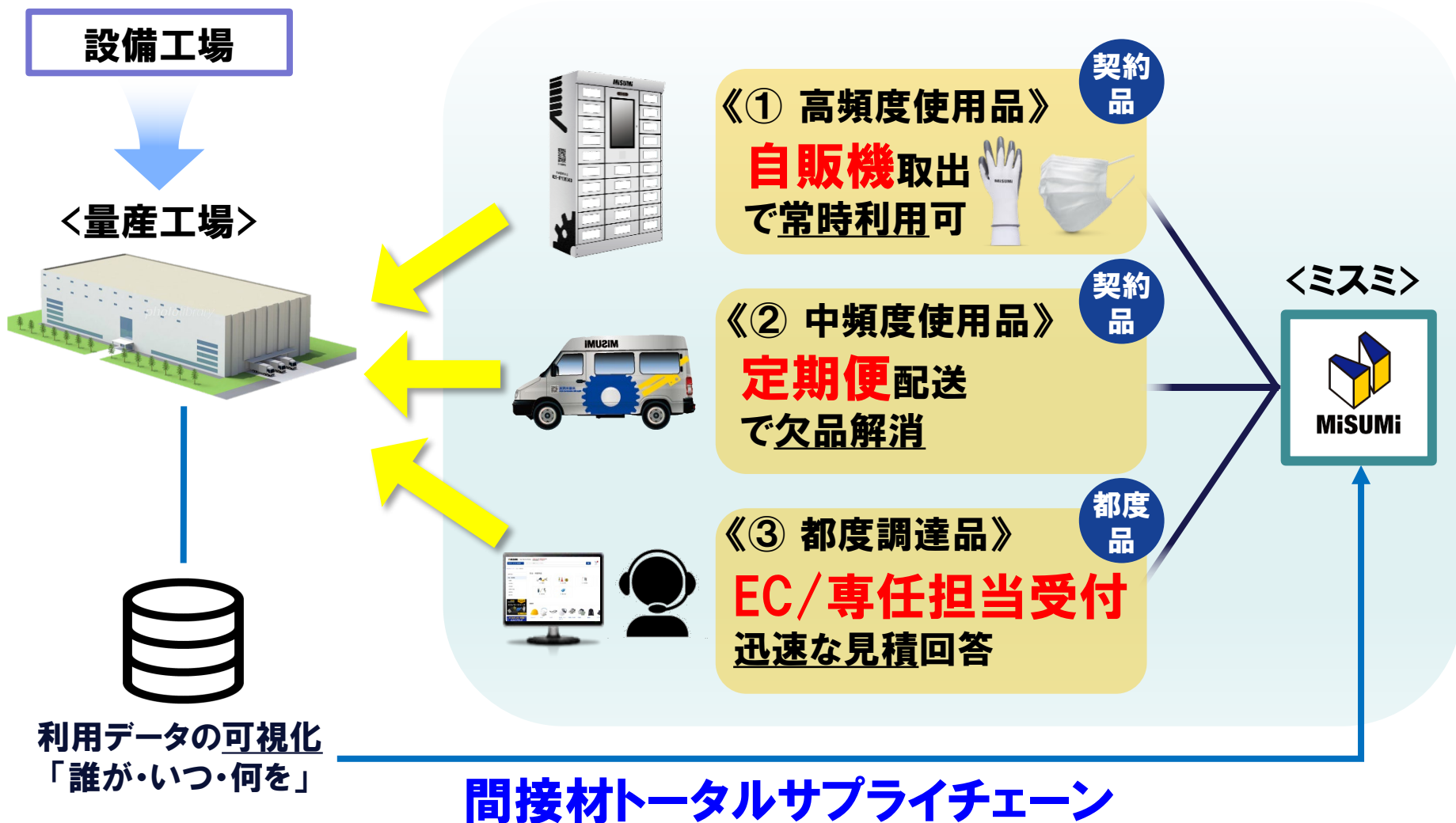
海外 **+146%**

(FY23=100指数)



デジタルモデルシフト第4弾：flood

お客様の購入頻度に応じて間接材トータルコストダウンサービスを構築
中国では約420社 自販機1,700台導入済み、日本への横展開開始



25年度通期 業績見通し

米国関税策による設備投資減、為替影響を保守的に見立て微減収を計画併せてコストアップや前年反動などの影響あるも2桁の収益性を堅守

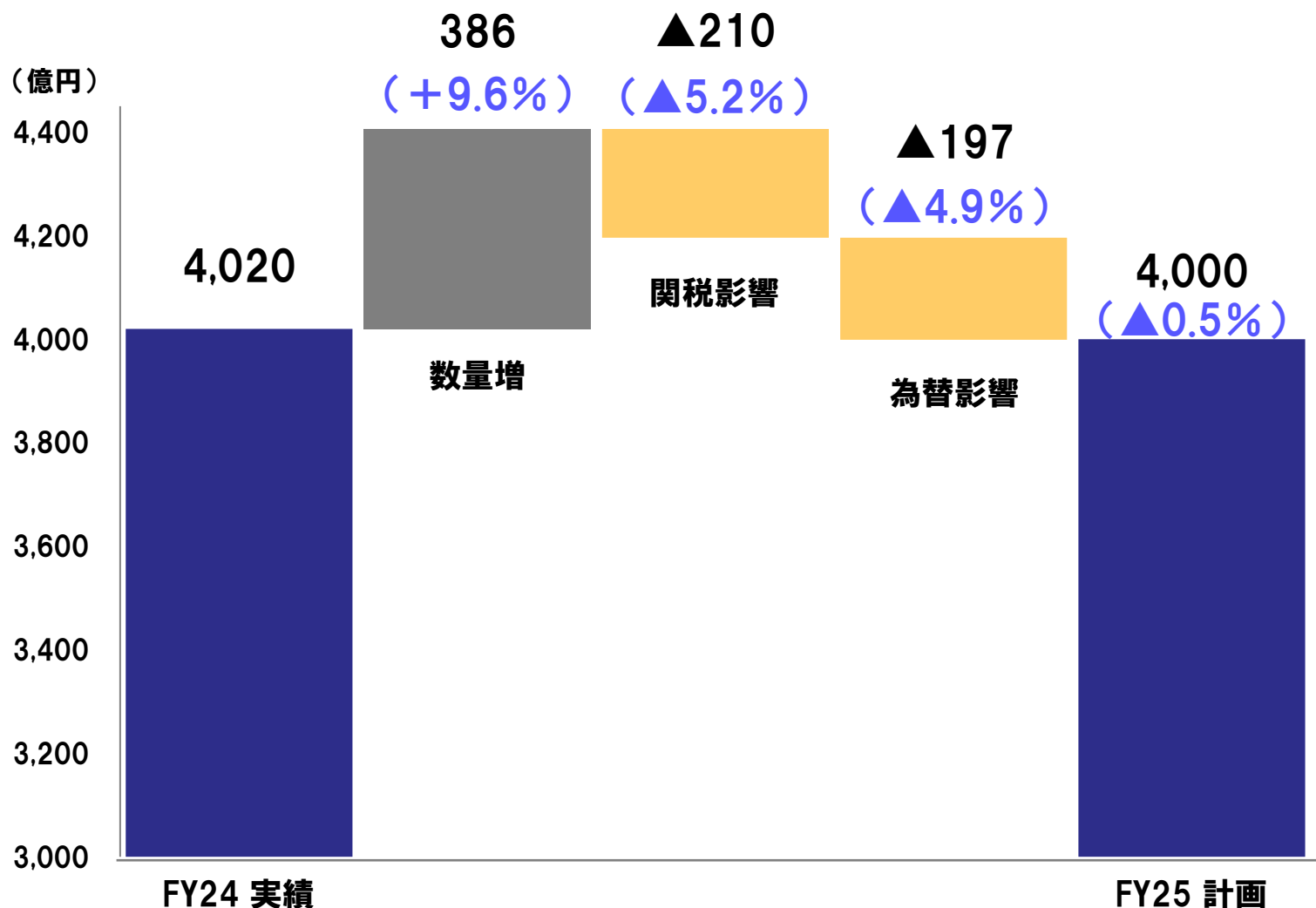
百万円

項目	FY24	FY25		
	実績	計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	401,987	400,000	▲0.5%	+4.7%
営業利益	46,511	43,500	▲6.4%	+4.9%
利益率	11.6%	10.9%	▲0.7pt	+0.0pt
経常利益	49,933	44,500	▲10.8%	-
当期利益	36,574	32,000	▲12.4%	-

※2025年4月17日に取締役会で決議したFictiv社の買収に関して、その影響額は精査中となり、上記予想には含まれておりません。

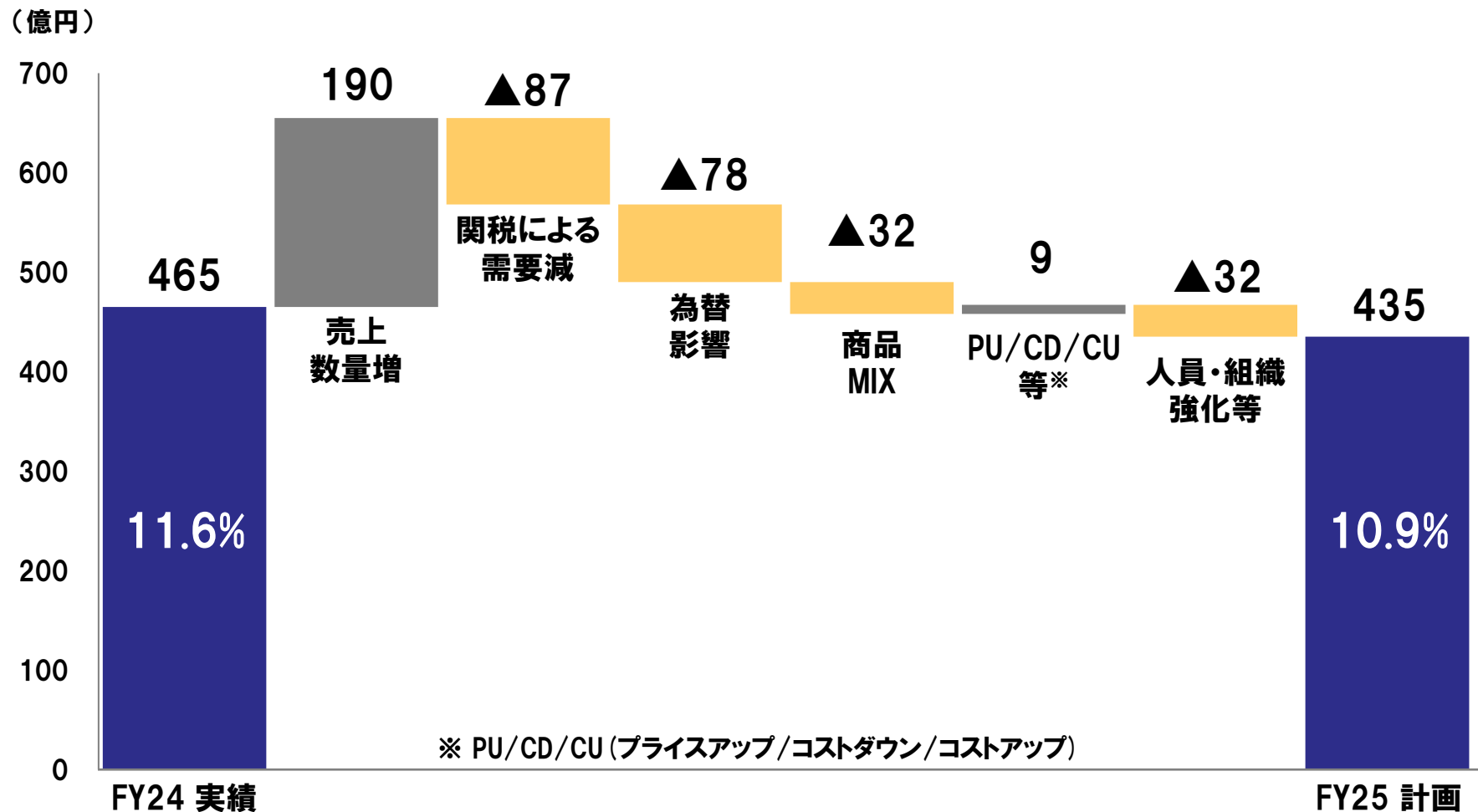
25年度 売上高増減分析(対前年)

デジタル施策等による数量増を見込むも、関税や為替影響にて粗相殺



25年度 営業利益増減分析(対前年)

売上同様、独自施策で増益を見込むものの関税、為替の影響大
商品MIX影響含め価格政策で吸収するも、一定の組織強化にて微減益



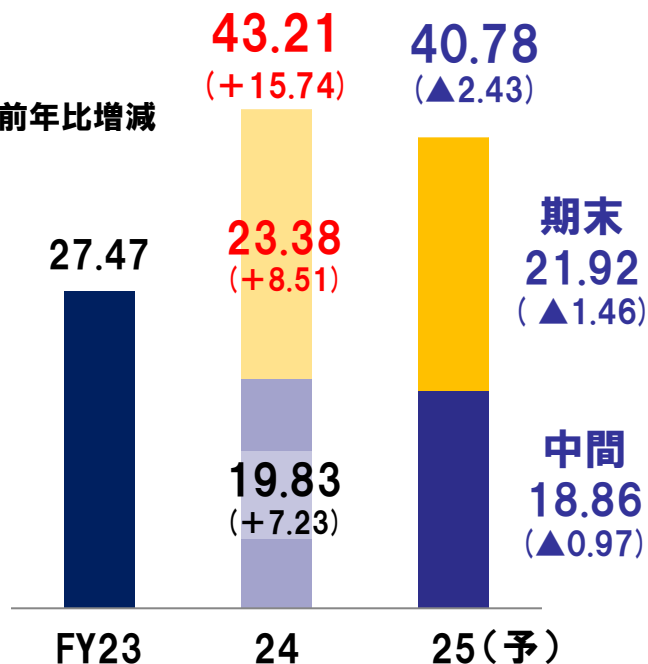
資本政策

FY24下期より配当性向35%に変更、FY24通期43.21円/株を予定
投資と還元のバランスや資金コントロールを含め、総合的見直しを検討

株主還元

(1株当たり配当金)

円/株
()内は前年比増減



下期より35%に変更

- 配当性向: FY24 32.5%
FY25 35.0%

資本政策 今後の考え方

(キャッシュアロケーション)

- 手元資金1,000億円(BCP対応含)
- 余資は事業成長への再投資 (M&A含)
- 残額は機動的な自社株買い、配当等に充当

⇒ 事業成長への投資、株主還元のバランスを図る

キャッシュ・マネジメント
最適化が進捗したこと
により、見直しに着手

現行方針

米国Fictiv社の買収について

Fictiv社の概要

急成長を遂げる米国カスタム機械部品のオンライン調達サービス

企業名	Fictiv Inc. 
創業年	2013年
本社所在地	米国 カルフォルニア州 オークランド
事業内容	・ カスタム機械部品のオンライン調達サービスを提供 ・ 試作から量産まで対応 ・ 世界4極での生産ネットワークを保有
事業業績	・ 売上高(2024年度) 72百万米ドル 前期比 +41%、過去5年CAGR +40% ・ EBITDA(2024年度) (24)百万米ドル

買収の目的

■ オンライン加工事業の成長加速

- meviyとFictiv社の統合により、成長分野「**オンライン加工事業**」を育成
- 事業モデルやシステムの互いの強みを統合し、競争力を一層高める

■ ミスミ事業領域拡大への貢献

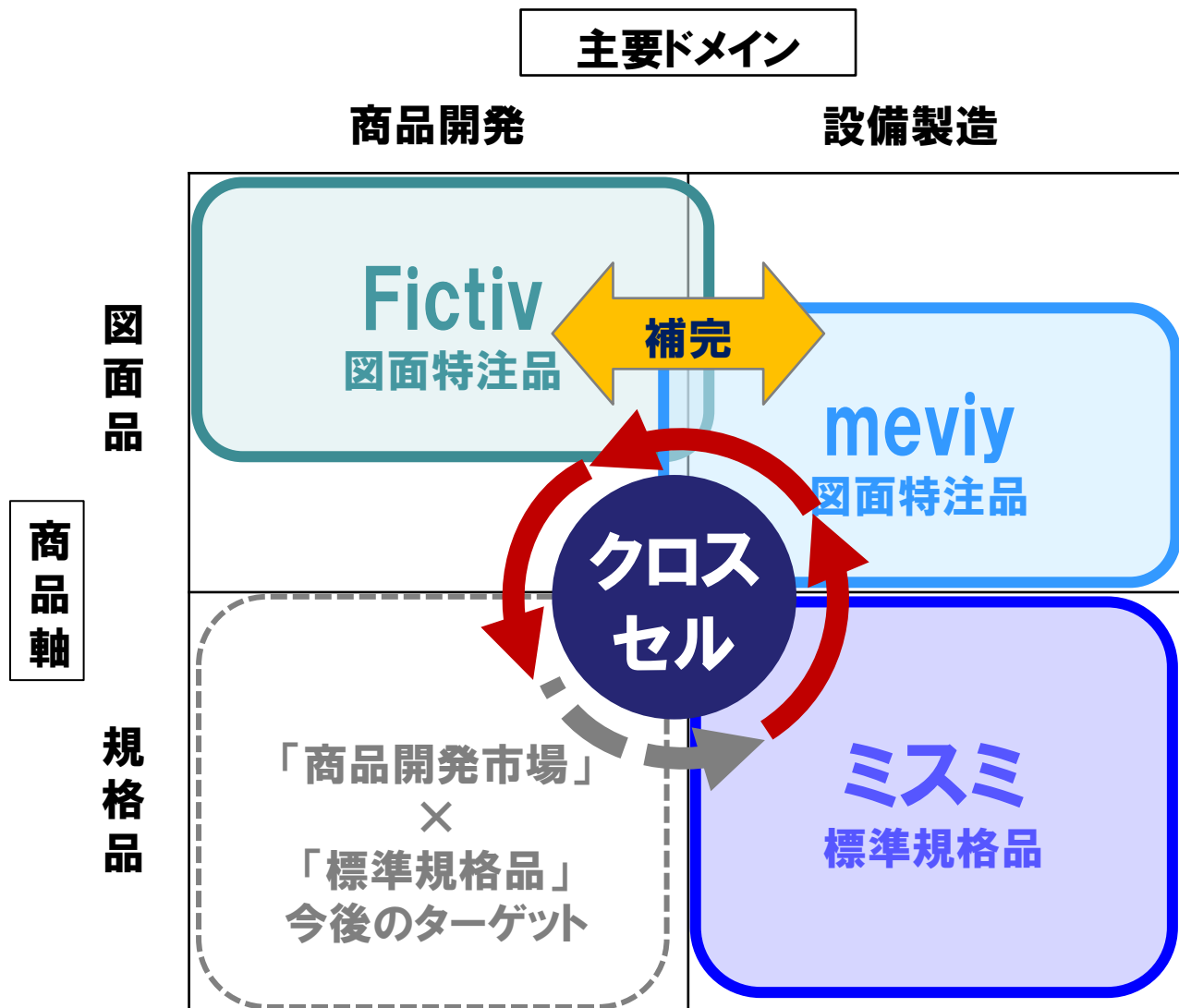
- Fictiv社の主戦場「**商品開発**」領域は**ミスミドメイン拡大**のターゲット
- 彼らの事業基盤を活かし、早期のドメイン拡大を仕掛ける

■ ものづくりAI力の担保

- **ものづくりに長けたIT／AIエンジニアの稀有な人材基盤**を獲得
- **デジタルモデルシフト**のもとで、当社のものづくりAI力を抜本強化

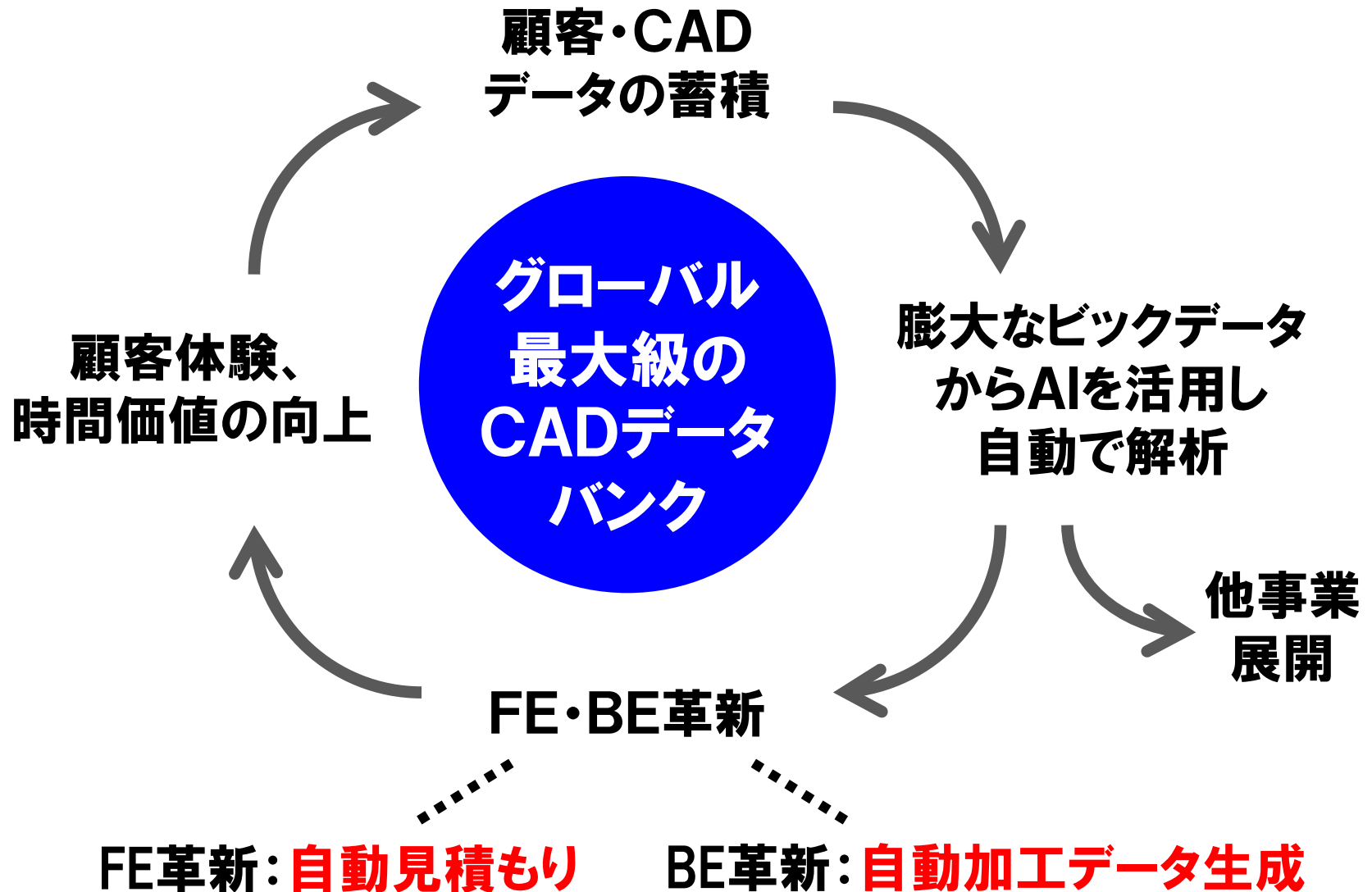
期待されるシナジー効果

相互補完関係が当社従来ドメインからの拡張および米国成長に寄与
クロスセル・NW活用により商品・顧客・地域軸における相乗効果を最大化



目指す姿

オンライン加工サービスの抜本強化を通じ、次のミスマの大黒柱に育成



**株主の皆様の一層のご支援を
お願い申し上げます**